

新中総第152号
令和3年5月28日

中央区自治協議会委員 各位

中 央 区 長

令和2年度中央区組織目標の取組結果及び
令和3年度中央区組織目標について（報告）

標記について、別紙のとおりご報告いたします。併せて選出母体等にお伝えくださいますようお願いいたします。

担当：中央区総務課課長補佐 佐藤哲哉
TEL025-223-1000 内線 37060

令和2年度 中央区組織目標

組織名	中央区	部長	中央区長 日根 秀康
<p>組織の目的・方向性の実現に向け、中央区は次の3つの取り組みを重点的に実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の活力を保ち、人口減少社会に対応します。 2 地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進します。 3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。 			

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

中央区各課主要事業及び特色ある区づくり事業（抜粋）

<p>1 地域の活力を保ち、人口減少社会への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しもまち地域の活性化（主要事業・地域課） ○赤ちゃん誕生お祝い会の支援（区づくり事業・健康福祉課） ○みんなでつながるにっこにこ子育ての応援（区づくり事業・健康福祉課） ○アトリウム発にぎわいプロジェクト（区づくり事業・総務課）
<p>2 地域と協働した、安心安全な地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り（区づくり事業・健康福祉課） ○糖尿病の予防の推進（区づくり事業・健康福祉課） ○生活保護受給者の特定健診受診率向上（保護課） ○路上駐輪の対策（区づくり事業・建設課） ○犯罪のない地域づくり（区づくり事業・総務課） ○防災人材育成・地域づくりへの支援（区づくり事業・総務課） ○西海岸公園松くい虫の防除（主要事業・建設課）
<p>3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域のお宝！再発見（区づくり事業・地域課） ○北前船がもたらした伝統的産業のPR（区づくり事業・地域課） ○とやの物語《NEXT STORY》（区づくり事業・窓口サービス課） ○区民協働森づくりの推進（区づくり事業・建設課） ○地域団体が行う会議や行事への参加（東出張所・南出張所）

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7023 (地域課)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域づくりのパートナーであるコミュニティ協議会の活性化を図り、協働することにより、安心してすやかに暮らせるまちの実現を目指すとともに、歴史や文化など区の魅力を再発見してもらい、シビックプライドの涵養を図ります。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1		コミュニティ協議会が地域課題を解決するために行う活動を支援します。	・地域活動補助金による活動支援	コミュニティ協議会に対する地域活動補助金の補助件数(件)	44	50	45	23	18	・コロナウイルスの影響により、令和2年度前半の活動自粛が見込まれることから、目標値をR1実績の50%に設定。	・コロナウイルスの影響により、年度当初予定していたが中止となった活動があり(6件)、目標件数を下回ったが、補助金交付のほか、感染症対策用品を配布するなど各コミ協の活動を支援することで、屋外活動や小規模な活動を中心に安全な活動継続につながった。	一部未達成
2		人口減少、高齢化が進行するしもまち地域において賑わいを創出するため、地域資源を編集・発信し、若者層への認知拡大を図ります。	・しもまち地域活性化事業	WEBコンテンツの年間再生数(回)	-	-	-	20,000	270,000	【参考：年間再生数】 ・わらアートまつり2019開催！18,939回	・Twitter、Instagram、FacebookなどSNSの閲覧件数で大きく目標を達成した。 ・フィールドワークイベントについては、コロナ禍により大規模なイベントを一部中止したこともあり、目標は下回った。	一部未達成
3		「まち歩き」を実施することにより、地域の魅力を再発見してもらいます。	・えんでこ(まち歩き)事業	参加者へのアンケート結果で「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持たせたい」と回答した人の割合(%)	-	-	95.8	95以上	98.0%		・コロナウイルスの影響により、秋季のみ回数や時間、定員等を縮小して実施したが、参加率は例年比で高く、アンケートで「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持たせたい」と回答した人の割合は98%で、当初の目標を達成することができた。	達成
4		中央区だより1・2面に中央区の魅力に関する記事を掲載し、区民の関心の向上を図ります。	・中央区だより発行事業	地域で活躍している人や団体などに焦点を当てた取材記事の掲載数(件)	-	-	-	12	14		・地域で活躍している人や団体に焦点を当て、積極的に取材に出向いた。その結果、14件の記事を掲載し、当初の目標を達成することができた。	達成
5		中央区の伝統的産業である「新潟漆器」「発酵食」「古町芸妓」についての認知度向上や産業的観点からの利用促進に取り組むことで、産業の振興を図ります。	・新潟漆器利用促進事業 ・味噌づくりカリキュラム ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業	「新潟漆器」利用店舗のリース終了後買取率(%)	-	-	52	80	78.9 (15件)	・R2リース終了19件 【R1実績】 ・リース終了23件 ・買取12件 ・買取率 52%	・新潟漆器：リース品の買取以外に、1店舗から漆器組合への新規注文につながった。 ・発酵食：新型コロナウイルスの影響により、味噌作りカリキュラムを中止したため目標達成に至らなかったが、関係機関のイベントで冊子を配布し区内発酵食のPRを行った。 ・古町芸妓：「料亭の味と芸妓の舞」は新型コロナウイルスの影響により全会期中止したため目標達成に至らなかったが、10月より定期的にPR事業「古町芸妓お屋の舞」を開催し、延べ261人の参加があった。3月に実施したスペシャル版のアンケート結果では満足度が87.6%と高く、効果的にPRできた。	一部未達成
				事業実施後の区内製造発酵食購入者増加率(%)	-	-	13	13	-			
				「料亭の味と芸妓の舞」への参加人数(人)	828	755	742	560	-	・コロナウイルスの影響により令和2年度前半の活動自粛が見込まれることから、目標値をR1の2・3会期定員(795人。閉店1件分を除く)の約70%に設定。		

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>コミュニティ協議会が行う地域課題解決への取組みを促し支援することで、コミュニティ協議会の活性化を図ります。</p> <p>人口減少、高齢化が進行するしもまち地域の知られざる地域魅力を発信し、若者層への認知・交流を拡大することで、地域の賑わいを創出します。</p> <p>「まち歩き事業」を実施することにより、区の宝物(魅力)を再発見してもらい、シビックプライドの涵養を図ります。</p> <p>中央区だよりについては、行政情報をお伝えするとともに、地域で活躍している人や団体などに焦点を当てた取材記事を掲載することで、区民の地域活動に対する意識や関心の向上を図ります。</p> <p>伝統的産業への取組みについては、切り口を変えながら、魅力再発見の場を提供し続けることで、認知度を上げ、消費に繋がっていき取組みを行っていきます。</p>	<p>コミュニティ協議会の活動支援については、補助金交付による活動経費の支援に加え、感染症対策用品の配布や研修会の開催等によりコロナ禍における活動継続を支援しました。今後も引き続き、補助金等の交付や相談業務を通して、コミュニティ協議会が行う地域課題解決のための取組みを支援していきます。</p> <p>しもまち活性化事業については、アーティストやクリエイターらの視点を通して、しもまちの知られざる魅力を発掘し発信することができました。また、アーティストやクリエイターに加え、地域住民や若者(学生)などさまざまな主体の参画がありプロジェクトのバリエーションが増えてきており、今後は、これまで発掘してきたしもまちの魅力を、若い世代により興味のあるものとして編集し発信力を高め、地域への人の流れを定着させます。</p> <p>えんでこ(まち歩き)は、新型コロナウイルスの影響により春季を中止し、秋季のみ規模を縮小しての開催となりましたが、多くの参加者から「区の魅力を再発見できた」との回答をいただき、区民のシビックプライドの涵養につなげることができました。来年度も感染症対策を徹底しながら、まち歩き事業を継続します。</p> <p>中央区だよりについては、今年度は特に地域で活躍している人や団体に焦点を当てた記事を掲載することで、地域活動に対する区民の意識の向上を図ることができました。今後も積極的に区の魅力発信に取り組んでいきます。</p> <p>伝統的産業の振興は「新潟漆器」「発酵食」「古町芸妓」について取組み、新型コロナウイルスの影響により味噌作りカリキュラムと料亭の味と芸妓の舞は中止しましたが、古町芸妓PR事業を定期的な開催など効果的にPRすることができました。来年度も感染症対策を徹底し、関係者と効果的な手法を検討しながら認知度向上や消費に繋がるとともに引き続き伝統的産業の振興を図っていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7106(窓口サービス課)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	窓口サービス課
組織の目的	窓口・業務改善活動を推進し、親切・丁寧・迅速・正確な窓口サービスに努め、市民の満足度を向上させます。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標			R2結果	補足・参考指標
1		窓口サービス提供における市民満足度の向上を図ります。	・窓口アンケートの実施	年2回実施の窓口アンケート年平均点	4.39	4.42	4.53	4.3	4.47	・5点満点 ・参考:令和元年度実績 第1回 4.48 第2回 4.57	令和2年度は制度の見直しにより窓口アンケートの実施回数が1回になりましたが、結果は4.47となり、目標を達成しました。	達成
2		職員の接客能力の向上を図ります。	・中央区オリジナル接客研修の開催 ・人材育成担当部署が主催する接客研修の受講	年2回実施の窓口アンケート「接客態度」に関する項目の年平均点	4.62	4.58	4.67	4.5	4.60	・心理学・カウンセリングの技術を活用した接客・クレーム対応研修を引き続き実施	窓口アンケートの結果は4.60となり、アンケート項目中、最高点を記録し、目標を達成しました。 中央区オリジナル接客研修では、中央区職員44人が受講し、中央区全体の接客能力の向上を図りました。研修の効果として、接客態度に気をつけている受講者の割合が研修前後で比較すると38%から89%に向上しました。	達成
3		職員の業務能力の向上を図ります。	・本課や課内で実施する研修の受講ほか	具体的な業務知識の習得を目的とした研修会等の受講者数			664	220	318	・1人あたり2回以上の研修等を受講	各自が業務知識の習得や窓口対応能力向上を意識して取り組んだ結果、研修受講回数は目標を達成しました。 特に、課内の連携・支援体制を円滑にするために、新たに実施した各業務担当者を講師とした課内研修は窓口対応能力の向上に有効でした。	達成
4		窓口・業務改善活動を推進します。	・各係と改善チーム等がそれぞれ3件以上の改善を実施	改善件数	13	25	30	24	27	・窓口サービスの向上を目指し、更なる業務改善の実施	各係及び改善WGで市民サービス向上のため、改善に取り組んだ結果、目標を上回る27件の改善を実施することができました。また、市民混雑状況発信などの新たな取組により、市民サービスの向上に寄与しました。	達成
5												

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>窓口職場として「市民満足度の向上」を目的に、「市民の視点」を重視して目標設定を行ないました。</p> <p>窓口アンケートや意見箱等により市民ニーズの把握に努め、窓口・業務改善活動を推進し、窓口サービスの向上を図ります。</p> <p>窓口のさらなる利便性向上のため業務処理能力や接客のスキルアップに取り組めます。</p>	<p>窓口アンケートにおいては、昨年度導入した派遣職員の業務能力が向上したことや中央区オリジナル接客研修の実施などにより、全項目の平均点が4.47、「接客態度」に関する項目が4.60となり、目標を達成しました。今後も引き続き、相手の立場に立った親切・丁寧な対応に努め、市民の皆様にご満足いただける区役所を目指します。</p> <p>窓口・業務改善活動では、目標件数を上回ったことに加え、新たな取組として、窓口の混雑状況を中央区ホームページからPC及びスマートフォンで市民がリアルタイムで確認できるようにすることで混雑緩和を図りました。</p> <p>また、各係及び改善ワーキンググループで業務効率化や窓口対応能力向上などを目的とした改善や研修を実施しました。</p> <p>フロア2層という特性を踏まえ、職員の業務能力向上を図り、改善活動を推進することにより、窓口対応を充実させ、市民サービスの向上を目指します。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7252(健康福祉課)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.30

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	「話そう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて考え、意思表示することの重要性について、専門職研修や区民啓発を実施	意思表示の重要性について理解した人の割合			98.3%	85%	95.7%	・専門職研修1回 ・民生委員研修17回 ・地域別人生会議各圏域1回	・専門職研修については、新型コロナウイルス感染症対策の為、会場参加のほかZoomを使用してオンラインでの研修を行った。また、後日、動画配信による研修も行い併せて153人が参加した。 ・民生委員研修17民児協で計17回開催し、343人が参加した。 ・地域別人生会議も小規模単位の地域の茶の間で計9回開催し、132人の参加があった。	達成
2	2	健康寿命延伸に向けて、特定健診の受診率の向上(全市目標受診率:51%、中央区のH30受診率:34%)及び糖尿病予防に取り組めます。	・健診受診率の低い中学校区へ電話等による受診勧奨を実施 ・糖尿病予防セミナーの開催 ・まちなか健康フェスティバルの開催 ・まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発	受診勧奨実施数			1,981	200	500	対象:41~65歳の2年連続未受診者 R1年度:区全域 R2年度:重点地区	・対象者500人へ勧奨チラシを送付し、250人に電話勧奨を実施。うち130人に実態調査を行い、11人が未受診者健診へつながった。	達成
				・糖尿病予防セミナー参加者のHbA1c:疾病について理解できた割合			98.7%	85%	98%		・回数や定員等を変更したが、参加率は96%(48人)であり、HbA1cは98%、疾病については全ての方が理解できたと回答。終了後、フォローアップ相談会で継続支援を行った。	
				・まちなか健康フェスティバル参加者のHbA1cについて理解できた割合			86.5%	85%	97%		・「まちなか健康相談会」を11月に開催し、糖尿病予防の啓発を行った。来場者119人へのアンケート結果より目標を達成できた。	
				・まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等の活用回数			23回	30回	33回	まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等の活用 ・区だけでのまんが啓発 ・ぐるりん新潟島道路標識 他	・オリジナルまんがキャラクターを活用し、区だより1面でオリジナルまんが掲載、健康読本制作の他、区内職員着用缶バッチ、ぐるりん新潟島道路標識等で健診受診勧奨、糖尿病予防の啓発を行った。	
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	「みんなであつなごっこに子育て応援事業」 ・妊カフ・育カフ・育ばる ・10か月育ちの講座 ・子育てネットワーク会議、産科との連携会議の開催	・妊カフ・育カフ・育ばる参加者の参加後に育児不安が軽減した割合			妊カフ:93.0% 育カフ:93.1% 育ばる:84.5%	85%	妊カフ:90.2% 育カフ:91.9% 育ばる:85.7%		・新型コロナウイルス感染症対策のため、妊カフはオンライン、育カフ・育ばるはオンラインと会場開催を組み合わせて実施。参加者アンケートより、育児不安が軽減したと回答した方の割合は目標を達成した。	達成
				・10か月育ちの講座参加者の10か月の発達・今後の発達の見通しについて理解できた割合			100%	85%	100%		・新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインのみで開催した。参加者アンケートより、今後の発達の見通しについて理解できたと回答した方の割合は、100%であり、目標を達成できた。	
				・関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童福祉に係る啓発活動の実施(研修・講座・会議等)	・啓発活動の実施回数		11	10	10		・関係機関職員、児童保護者、市職員等を対象に、児童虐待防止や児童福祉に係る啓発活動を実施	
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組めます。	・6つの係がそれぞれ3件以上の改善を実施	・窓口業務にかかる改善件数	32	21	30	18	38		・チャットを活用した情報共有 ・窓口対応模擬研修 ・各業務マニュアルの見直し 他	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指して、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。</p> <p>高齢者をはじめ誰もが事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるため、ケアマネジャーなどの専門職や民生委員を対象に研修会や区民啓発を関係機関と協働し実施します。</p> <p>健康寿命延伸に向けて、特定健診の受診勧奨の実施、糖尿病予防セミナー、まちなか健康フェスティバルを引き続き開催します。また、まんがキャラクター「中央区健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発に取り組めます。</p> <p>保護者の子育ての不安を軽減し孤立化を防ぐため、妊娠前から乳児期に安心して子育てができる体制づくり及び保健師・助産師などの専門職による切れ目ない支援を地域の子育て支援施設や医療機関と連携・協働して行うとともに、事業へ参加できない方への情報発信にも取り組めます。また、関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童虐待防止や児童福祉に係る子育て支援啓発活動を実施します。</p>	<p>「話そう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」では、自らが希望する医療やケアについて元々ときから考え、意思表示することの大切さについて、専門職や民生委員への研修を開催するとともに、地域別人生会議で区民への啓発を行いました。次年度は意思表示の大切さを伝えることのできる人材の育成と、引き続き区民への啓発に取り組めます。</p> <p>・特定健診受診率向上では、受診率の低い地区への受診勧奨に重点的に取り組み、勧奨チラシの送付と看護職による電話勧奨、聞きとり調査を実施しました。来年度も機会を捉えた受診勧奨を継続し、特に40歳前後の若い世代へ向けて受診勧奨を行います。</p> <p>・区の健康課題である糖尿病予防については、血糖有所見者を対象とした「糖尿病予防セミナー」や、一般区民を対象としてNEXT21アドリウム会場で「まちなか健康相談会」を開催、まんがキャラクターを活用したオリジナルまんがや健康読本等の制作・配布に取り組み、糖尿病予防やHbA1cの理解を図ることができました。来年度は、地域や比較的若い世代へ向けての啓発を関係機関と連携し、実施します。</p> <p>・「みんなであつなごっこに子育て応援事業」は、感染対策をとりオンラインや会場で開催し、専門職への相談や仲間づくり、児の成長・発達や関わり方を学ぶ講座を通し、参加者の育児不安を軽減することができました。来年度は、妊婦への支援強化として、新たに妊婦個別オンライン相談を実施するとともに、専用サイトによる情報発信を継続します。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 東地域保健福祉センター(025-243-5312)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	東地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.25

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目録達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」もしもの時のために自身が望む医療やケアにつて考え意思表示することについて地域への啓発や研修を行います。	意思表示の重要性について理解した人の割合			100%	85%	91%	地域別人生会議・民生委員研修でのアンケートの実施	民生委員研修5地区5回、地域別人生会議2か所(1圏域)で実施。アンケートによる理解度平均91%。関心を持って参加していた。	達成
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上(全市目標受診率:51%、中央区のH30受診率:34%)及び糖尿病予防に取り組めます。	受診率向上のために、医療機関、地区組織、窓口来所者、さらに保健師活動の中で受診勧奨します。	受診勧奨数(人)	167	175	268	300	490	医療機関・関係機関との会議(地区組織・学校等)・集団検診・窓口来所者・保健師訪問等で、啓発チラシ・ティッシュを配布	地区民協59人・学校3か所83人・集団検診・地域の茶の間2か所20人他、窓口・訪問等保健師活動の機会を利用して合計490人に実施した。受診勧奨ポスターと保育園の園児の絵とコラボした展示をセンターエントランスで実施。	達成
			健康相談でのミニ講座、掲示物や配布資料を工夫し運動・栄養を基本とした生活習慣改善知識の普及を行います。	生活習慣の改善に向けた行動変容への理解度				80%	84%	毎月の健康相談でのミニ講座開催しアンケートの実施 センターの掲示物の充実・資料作成	・新型コロナ感染症予防のため、健康相談で集団でのミニ講座ができなかったが、生活習慣病予防のための食生活改善について栄養士と連携して配布資料を作成し、健康相談で配布し口頭で理解度は9割以上、地域の茶の間での健康教育ではアンケートで理解度84%であった。	達成
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	児童虐待やDV予防のためのより良い支援ができるようにセンター内外での事例検討会を開催します。	検討会実施回数		37	39	38	48	センター職員の検討会の他に、事業別や関係機関との個別の検討会も含む	・関係機関とのケース会議36回、センター会議でのケース検討6回、育児、発達相談事業ケース検討6回、計48回実施	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組めます。	窓口申請や相談、保健業務に関する改善を実施します。	改善実践数	3	3	3	3	3	センター内で改善策を話し合い実施する。	・センター内の表示や展示をわかりやすくした。 ・窓口業務の正確性確保のため、相談個票作成、マニュアルの整備、確認手順についてセンター内で話し合い改善した。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>住み慣れた地域で、一人ひとりがお互いに助け合いながら、健やかでいきいきと心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。地域の組織と連携し支え合い助け合い活動を支援し、健康寿命延伸の健康教育、相談や終活に関する意識啓発の研修、話し合いを実施します。</p> <p>健康寿命延伸のため、自らの健康状態を知る特定健康診査の受診者が増えるよう、保健師活動やセンター事業のあらゆる機会を捉えて受診勧奨します。また、生活習慣の改善に向けた行動変容への理解を啓発します。</p> <p>児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待、DV、自死等を予防するため、関係機関と連携してネットワークを作り、より良い支援策を検討し対象者に個別支援を行います。</p> <p>市民の視点に立ち、窓口申請や各種相談業務、保健業務を改善し、サービス向上を実践します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区づくり事業「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」では、地域包括支援センターと協働し、地域別人生会議を民生委員、地域のお茶の間で行いました。参加者アンケートからは、「元氣なうちに話すことが大事」「よく考える機会になった」と良かったという意見が多かったが、「高齢者に勧めにくい」「個人の生き方に干渉すべきでない」という意見もありました。講師からは、考えたい時に考える、思いが変わってもいい、何でも話しあうことが大事と強調しました。講話のわかりやすさ、媒体の工夫も好評で参加者同士で話し合う場面もありました。 ・健康寿命延伸のため、保健師活動のあらゆる場面で特定健康診査の受診勧奨を行いました。新型コロナウイルス感染症予防のため活動が制限されたが、保育園や学校等とも積極的に連携し、活動の幅を広げました。 ・健康相談では、感染予防のためミニ講座を中止したが栄養士と連携して、塩分ひかえめレシピを載せたリーフレットを作成し個別指導や地域の健康教育で配布した。参加者からは大変好評で、来年度も新資料の作成、施設内の掲示物の工夫等を行ってきたい。 ・特定妊婦、育児不安に適切な支援が行えるよう、毎月センター内で事例検討の機会を設け、援助技術の向上を図りました。児童虐待、DV、障がい者、高齢者虐待など支援困難なケースは関係機関とケース会議等多くの連携の中で、役割分担、支援とモニタリングを繰り返しながら対応しました。 ・当センターを利用する市民のために正確で迅速な対応ができるよう改善策を話し合い実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症予防の市民啓発(チラシ作成掲示と配布、施設利用の感染予防対策)、保健所業務支援(保健師)を行いました。来年度も継続します。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 南地域保健福祉センター(025-285-2373)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	南地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.25

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	「話そう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて考え、意思表示することの重要性について、専門職研修や区民啓発を実施を進めます。	研修会「地域別人生会議」の意思表示の重要性を理解した人の割合	-	-	98.5%	85%	96.2%	・民生委員研修 ・地域別人生会議各圏域1回	民生委員研修、地域別人生会議ともに、研修後のアンケートから、意思表示の重要性を理解した人の割合は目標を達成できた。 民生委員研修:5地区実施、104人参加 地域別人生会議:4か所実施、66人参加	達成
			・難病新規申請時の相談票、質問票から状況を把握し、関係機関と連携しながら、適切な時期にサービス導入や手続き支援を実施	新規難病患者への支援方法の検討及びモニタリングの実施回数	-	-	-	12	12	・新規難病患者支援者数 ・相談希望者への100%支援	計画どおり、12回の検討会及びモニタリングを実施した。 新規難病患者支援者数:34人	達成
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上(全市目標受診率:51%、中央区のH30受診率:34%)及び糖尿病予防に取り組みます。	・国民健康保険加入者に、受診勧奨(冊子にPRシール貼付) ・健康教育等で健康課題の周知と受診勧奨 ・糖尿病セミナー受講者の継続支援 ・特定保健指導の実施	国民健康保険加入後に受診券を発行者した者へ、葉書、電話勧奨の実施	-	-	-	80%	97.5%	・南出張所と連携し、国民健康保険加入者に、受診勧奨(冊子にPRシール貼付) ・受診券発行者の受診状況をシステムで確認し、未受診者に葉書、電話で受診勧奨	1月末までにセンターで受診券を発行した方に葉書、電話で受診勧奨を実施し、目標を達成できた。 南出張所と連携し、国民健康保険加入者に、PRシールを貼付した冊子を配布し、受診勧奨を実施した。782世帯(12月現在)	達成
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・支援を必要とする妊産婦への訪問・相談・医療機関と連携 ・育児相談会、窓口随時相談 ・育児不安者、要経過観察児への訪問・相談 ・のびのび育ちの会 ・子育て支援センターでの育児講座 ・公民館事業への協力 ・赤ちゃん誕生お祝い会への参加	のびのび育ちの会未利用者及び発達支援のケース検討実施回数	0	0	4	5	5	・のびのび育ちの会は、幼児健診から発達面で経過観察が必要な親子が適切な支援方法を学ぶ場である。 <参加率> H30年度:35.7% R1年度:44.7%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止の時期もあり、計画どおりに実施できない中、1歳6か月児健診からの発達チェックや母親支援へのつながりを考えたケース検討を実施し、目標は達成できた。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	窓口申請や相談に関する改善を実施し支援の質を向上	○JITによる研修会の開催 困難ケースの検討会実施数	研修会 5回		研修会 8回 検討会 7回	研修会 8回 検討会 6回	研修会 8回 検討会 7回	・主要な窓口業務について○JITで研修を行い係員が迅速・正確に窓口対応ができるようになる。 ・相談来所者が適切な支援に繋がるように検討会を行う。	計画どおりに、窓口業務の研修会8回、検討会7回を実施した。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指して、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。 高齢者をはじめ誰もが事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるため、民生委員を対象に研修会や区民啓発を関係機関と協働し実施します。また、医療、介護が必要となる難病の方に、適切に相談、支援を実施します。 成人・高齢者の健康づくりに関しては、積極的に健診を受診し健康管理できるように様々な場面で啓発・勧奨し受診率を向上を図ります。 出生数が多く、転勤族で支援者がいない方が多い地域であり、子育て支援は重要です。妊娠前から支援が必要な方には訪問や相談を行い、出産後も、相談したいときに気軽に相談し支援を求められるよう、各種母子事業を市民視点で見直し改善していきます。 窓口業務や相談の質を向上させるために研修会や検討会を行います。	「区づくり事業」話そう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」は、区民啓発として、民生委員研修を5地区で実施、地域別人生会議を4つの地域の茶の間等で実施しました。参加者からは、「繰り返し考え、家族で話し合うことが大切であると感じた」という感想も多数聞かれ、理解度の目標も達成できました。来年度も、引き続き、地域の茶の間等で啓発に取り組みます。 ・難病患者への支援については、新規難病患者への検討会やモニタリングを実施し、訪問・電話等で支援しました。 ・健康寿命延伸の取り組みは、南出張所と連携し、国保新規加入者へ受診勧奨シールを貼ったパンフレットを配布し、受診券を発行した者に葉書や電話で受診勧奨を実施しました。来年度も引き続き、南出張所と連携し国保新規加入者の受診勧奨に取り組みます。 ・子育ての不安、負担の軽減を図るため、支援を必要とする妊産婦、母子へのケース検討を実施し、職員の子育て支援の資質向上を図りました。 ・市内で最も窓口件数の多い地域保健福祉センターであるため、幅広い窓口申請及び相談に対応できるように研修会やケース検討を実施しました。引き続き、市民視点でサービス向上できるように研修を継続していきます。

組織目標管理シート

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	中央地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助け合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

問合せ先(電話番号)	中央地域保健福祉センター(025-266-5172)
------------	----------------------------

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.25

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて考え、意思表示することの重要性について、専門職研修や区民啓発を実施	意思表示の重要性について理解した人の割合	-	-	97%	85%	98.0%	・民生委員研修 ・地域別人生会議を各圏域1回	民生委員研修、地域別人生会議ともに、研修後のアンケートから、意思表示の重要性を理解した人の割合は目標を達成できた。 民生委員研修:7地区実施、144人参加(98.1%) 地域別人生会議:3か所実施、40人参加(97.5%)	達成
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組みます。	・管内の公立小中学校の養護教諭と連携し、生徒の保護者(40歳代～50歳代)を対象に、特定健診及びがん検診のPRを実施します。	・保護者に対し、中央区の健康課題の情報提供と特定健診及びがん検診のPRを実施した学校数	-	1	4	5	6	・H31年度は寄居中の他、関屋、白新、新潟柳都中学校の養護教諭と連携し実施。 ・R2年度は、公立4中学校の他、小学校1校で、特定健診・がん検診のPRを実施。 ・毎年1回小中学校の養護教諭との連絡会を開催。	公立4中学校と有明台小学校の5校の他、附属新潟中学校の合わせて6校の保護者(1,328人)に健診のPRを実施した。各学校の養護教諭と連携し、校内のポスター掲示やチラシの配布を実施。寄居中学校では保護者会で健診の重要性、受診方法などの説明を実施した。 小中学校の養護教諭との連絡会では、健診の受診率向上に向けて各学校で取り組みをどう話を話し合い、今後も連携して取り組んでいくことを確認した。	達成
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・児童虐待防止に向け、関係機関と連携協力し、ケースそれぞれに適した支援内容を検討します。 ・関係機関との会議や検討会の他、所内でも定期的に個別ケースの検討会を実施します。	・個別ケース検討会を実施(回数)	-	-	-	10	10	・児童虐待の他、特定妊婦や多問題の育児困難ケースの検討も含める。	主に児童虐待や特定妊婦のケースの個別検討会を10回実施。 センター内職員のアンケートの結果、自分の業務に役だった100%、自身のケースワークのスキルが上がった60%で、業務に役立つ検討会が実施できた。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組めます。	・窓口申請や保健福祉業務に関する改善を実施します。	・改善実践数	-	2	2	3	3	・センター会議等で改善策を話し合い実施する。	感染予防やコロナ対策に関するチラシやポスターなどをセンター入口や建物内に見やすいように掲示した。また、飛沫感染予防の衝立などはセンターにあるものを利用して作成した。他に、1階の保育室前に電話と案内板を設置し、利用前後に職員に連絡してもらい、すぐに消毒できるようにしたり、1階から2階への移動が困難な人向けに、インターホンを押してもらい職員が1階で対応ができるよう、玄関入り口や階段前付近に案内板を設置した。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域の関係機関や住民と協働・連携し、誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりに取り組みます。</p> <p>・高齢者をはじめ誰もが事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らしていけるため、民生委員を対象とした研修会や区民啓発を関係機関と協働して実施します。</p> <p>・健康寿命延伸のため、自らの健康状態を知る特定健康診査やがん検診の受診者が増えるよう、小中学校養護教諭等と連携し、40歳代～50歳代の人に健康課題の説明や健診PRを行います。</p> <p>・少子化や育児の孤立化が進む中、支援を必要とする保護者が安心して子育てできるよう、関係機関と連携して一人ひとりきめ細かな支援を行います。</p> <p>・常に市民の視点に立ち、窓口申請や保健福祉相談業務の改善に取り組む、サービス向上に努めます。</p>	<p>・区づくり事業「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」の民生委員研修では、外部講師に依頼したり、職員が講師を務めたりと各民協の希望や意向に合わせて実施しました。また、地域別人生会議では職員が講師となり媒体など作成しながら理解が高まるよう工夫しました。参加者からはより啓発を広げてほしいとの声もあり、次年度も多くの地域の方へ区の取り組みを伝え、A・CPIについて啓発していきます。</p> <p>・小中学校と連携し保護者の健康管理や健診のPRを実施し、一緒に取り組んでくれる学校も年々増え、他の事業でも学校と連携した活動が増えています。次年度は今年度の取り組みを継続し、さらに中央区全体で小学校と連携した受診率向上に向けた取り組みを実施します。</p> <p>・ケース検討会では、毎回ケース提供者、司会、記録を順番に決め、時間も決めて実施しました。チーム全体で共有しアセスメントし足りない情報や今後の支援の方向性を話し合うことで、各自の引き出しが増え、また一人で抱えることなく困難ケースに取り組むことができました。このような検討会は積み重ねていくことが大事ですので、次年度は、母子事例に限らず、難病や精神等のケースも含め検討会を継続していきます。</p> <p>・今年度は感染予防のための業務改善や2階への移動が困難な人向けの案内板の掲示などを実施しました。今後も市民の視点にたち、サービス向上に努めます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-223-7340
------------	--------------

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	保護課
組織の目的	市民生活の礎となる「安心・安全な暮らしを最終的に保証する、セーフティネットとしての生活保制度を適切に運営することを通じて、被保護世帯の自立に向けた支援の充実強化を図ります。 また、職場内に課内グループを編成することで、業務が適正かつ円滑に遂行できるよう、全職員一体となって取り組んでいきます。		

作成日	R2.4.1
修正日	R2.12.1
評価日	R3.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標			R2結果	補足・参考指標
1		生活保護世帯の就労意欲の向上を図り、就労に結び付けていきます。	・生活保護受給者の事業への参加 ・就労支援相談員との連携 ・ハローワーク職員との連携	就労自立支援事業の参加者数(人)	240	244	229	200	180	・求職や増収を指導している受給者 平成30年度末 948人 令和元年度末 857人 ・事業参加者の67%が就労開始できるようハローワークと連携して取り組む ・目標は、新潟労働局も構成員となっている「生活保護受給者等就労自立促進事業運営協議会」の目標値と同じ	求職や増収を指導している生活保護受給者は816人です。 R3年3月22日現在、就労自立支援事業参加者は180人、そのうち就労を開始した方は123人で、就労開始の割合は68.3%でした。 求人状況は新型コロナウイルス感染症の影響がみられますが、就労支援員やハローワークと連携して、事業への参加や就労開始につながるよう相談支援を行いました。	未達成
				就労自立支援事業での支援対象者から就労を開始した人数(人)	-	124	158	134	123			
2		生活保護世帯(生活困窮者世帯及びひとり親世帯を含む)の中学生の学習習慣を定着させ、学力向上を図ります。	・「子ども勉強会」の開催 ・学習支援員による家庭訪問や個別相談の実施	子ども勉強会への出席率(%)	-	-	-	25	50	・平成27年度から生活困窮者世帯、平成30年度からひとり親世帯の生徒も参加 ・ボランティアの大学生と連携して運営するとともに、学習支援員が個別に相談するなどし、出席につながるよう支援 ・参加者の出席率 平成30年度 14.1% 49% 令和元年度 21.6% 48%	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できない時期があり、学生ボランティアの参加も難しい状況がありましたが、工夫しながら勉強会を開催し、多くの子どもの参加につながりました。 また参加した子どもに対して個別相談を積極的に行い学習支援に取り組みました。 なお目標は、中央区地域福祉計画における取組とし、「子ども勉強会参加者に対する勉強会への出席率」に修正しました。	一部未達成
				学習支援員による家庭訪問や個別相談の実施回数(回)	9	6	14	15	15			
3		生活保護世帯の適切な健康管理を行います。	・特定健診の受診率向上	40歳から64歳の保護受給者の特定健診受診率(%)	-	-	-	12	8.89 8.9	・特定健診の対象は40歳以上 ・そのうち受診率の低い64歳未満以下の受給者について重点的に受診勧奨 ・64歳未満以下対象者 1,226人 ・受診率 平成30年度 10% 令和元年度 11%	特定健診については新型コロナウイルス感染症の影響により受診率が落ち込み、目標に達しませんでした。 R3年3月末に、40歳以上の受給者あてに受診勧奨のチラシを送付し、今後の受診につなげていきます。	未達成
4		生活保護を必要とする市民の生活保障を図ります。	・事務の適正化 ・他法他施策の活用	年金受給開始者等の割合(%)	-	-	100	100	100	・年金加入調査を進め、年金受給可能と考えられる受給者について年金が受給できるよう支援 ・受給困難な場合は、対応を課内で検討し、支援の方向を決定 ・受給可能な未受給者は35人	調査の結果年金受給可能と考えられた112人のうち103人が受給手続きを行いました。3月30日現在受給手続きが行われていない残り9人についてケース検討会議を行い方針を決定しました。	達成
5		生活保護を必要とする市民の生活保障を図ります。	・事務処理の適正化・効率化	改善件数	-	-	-	8	14	事務処理の適正化及び効率化を目指し、事務改善グループを中心に業務改善を実施	事務改善グループを中心に意見を出し合い、改善に努めた結果、目標を上回る14件の改善を実施することができました。 内容も事務の効率化や業務全体の負担軽減につながる効果的なものとなりました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
生活保護世帯に対し、就労による経済的自立(就労自立)のみならず、自分自身で健康・生活管理を行うなど日常生活において自立した生活を送ること(日常生活自立)、地域社会の一員として充実した生活を送ること(社会生活自立)などの自立を支援し、生活保護世帯の抱える多様な課題に対応できるよう、関係機関とも連携しながら、積極的に取り組んでいきます。	就労支援事業・子ども勉強会・特定健診の受診勧奨に関する目標は、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で実施困難な時期があり、再開後には感染防止策など工夫しながら取り組みましたが目標には至りませんでした。 今後も対策を継続しながら、それぞれの事業を実施し、保護受給者の抱える課題に対応できるよう取り組みます

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7403(建設課)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	様々な施設が集積する拠点として都市機能の向上を図るとともに、利用者の視点に立った、利便性が高く、安心・安全に暮らせる、快適で住みよい賑わいあふれるまちづくりを推進します。		

作成日	令和2年4月1日
修正日	
評価日	令和3年4月1日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1		西海岸公園周辺において松くい虫による松枯れ被害が増加していることから、被害の収束を図るため松くい虫対策に取り組めます。	・被害木の伐倒燻蒸の実施 ・薬剤の空中散布及び地上散布の実施	前年度被害木調査に対して、5月末で処理する本数の割合(%)	—	—	—	100	100	・空中散布 2回実施	5月末までに被害確認数1,728本について全数駆除することができました。	達成
2		西海岸公園の海岸林について、防風対策などの必要性・重要性を周知し、海浜植物園周辺に地域や団体・有識者らと協働でクロマツの植樹を行います。	・植栽計画作成 全体N=4900本 ・植栽本数 N=800本 ・協議会の実施	植樹の参加人数 クロマツの植樹	—	—	参加人数 100人	参加人数 110人	参加人数 220人	・モデルエリアとして事業実施した市営汐見台住宅跡地の継続事業 ・協議会の実施を通じて、事業内容等の検討を行い、参加人数の向上を図る。	当初予定の800本の他、関係団体から30本の寄付をもらい植栽しました。また、浜浦小学校の総合学習にも取り入れてもらい、小学生を含めた、多数の地域の方と協働で植樹することができました。	達成
3		速やかなサービス提供と事業効果の早期発現を図ります。	・工事の早期発注 ・委託業務の早期発注	第2四半期発注率(%)	90	90	89	80	89	・当初箇所付事業の発注率	発注についての進捗状況の確認や課題の整理を行い、課内で情報共有を図ったことで、目標を達成することができました。	達成
4		安心・安全で快適な道路空間を確保するため、自転車利用者に対し自転車等駐車場への誘導を行い、駐輪マナーの向上・路上駐輪の削減を図ります。	・啓発活動の実施 ・放置自転車の撤去	新潟駅前前の放置禁止区域内の違反自転車数(警告台数)	—	—	—	2,530	1,436	・過去3年間の違反自転車数(警告台数)の平均値(2,665台)の5%削減	駐輪マナーに関して啓発活動を行い、コロナ禍の影響もありましたが、警告台数を削減することができました。	達成
5		効率的に業務推進し区民サービスを向上させるべく、職員の担当業務はもとより各担当以外の業務の専門知識、技術力、説明能力を高めます。	・課内勉強会の実施	開催回数(回)	—	—	10	8	8	・各係年2回以上(8回/年)	勉強会を開催することにより、課内の情報共有及び職員の技術力の向上を図りました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>中央区では、平成24年度に西海岸公園において松くい虫による松枯れ被害が確認されて以降、その被害は年々急増し、深刻化しています。西海岸公園周辺の松林は、区民の生活を護る防風・防砂機能を有する重要な役割を担っており、このまま被害が進行すると、松林の消失につながるおそれがあることから、被害の収束を図るために、松くい虫対策に取り組めます。</p> <p>また、中央区の特徴である西海岸公園の海岸林については、防風対策などの必要性・重要性を市民に周知し、引き続き海浜植物園周辺に地域や団体・有識者らと協働でクロマツの植樹を行い、海岸林の保全に努めています。</p> <p>工事・委託などの発注について早期に発注することにより、速やかな情報・サービス提供と事業効果の早期発現に努めています。</p> <p>駐輪対策については、安心・安全で快適な道路空間を確保するため自転車利用者に対し自転車駐車場への誘導を行い、駐輪マナーの向上・路上駐輪の削減を図ります。</p> <p>課内勉強会等の開催により、職員の担当業務はもとより担当以外の業務に係る専門知識・技術・説明力を高め、幅広い視点をもって効率的に業務推進し、区民サービスを向上させます。</p>	<p>西海岸公園周辺の松くい虫被害対策として、被害木の伐倒燻蒸、薬剤散布、樹幹注入に取り組み、被害木の数は減少傾向にあります。引き続き、松くい虫対策に取り組み、被害が早期に収束するよう努めます。</p> <p>また、中央区の特徴である西海岸公園の海岸林について地域や団体・有識者との協働しクロマツの植栽を行い、防風対策などの必要性・重要性の理解を深めました。引き続き、海岸林の保全に努めていきます。</p> <p>工事・委託などの発注については当初の目標を達成することができました。次年度以降も引き続き早期の発注について取り組んでいきます。</p> <p>駐輪対策については、駐輪マナーに関して啓発活動を行いました。コロナ禍の影響もありましたが、放置禁止区域内の違反自転車台数が減少しました。引き続き、駐輪マナーの向上、路上駐輪の削減に努めます。</p> <p>区民サービスの向上につながるよう、課内勉強会を開催し、課内での情報共有や職員の能力向上を図りました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-223-7086(総務課)
------------	-------------------

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	災害に強い地域づくりを進めるため、現実の災害時に市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくり、コミュニケーションづくりを支援します。 中央区サービス憲章に基づき、わかりやすく、親しみやすい区役所を目指して改善に取り組みサービスの向上を図ります。 まちなかの活性化に資するため、中央区役所(NEXT21アトリウム)を活用したイベントを開催します。		

作成日	令和2年4月1日
修正日	令和3年2月1日
評価日	令和3年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目録達成状況	評価		
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標			R2結果	補足・参考指標
1		避難所運営訓練を通じ、中学生、地域、防災士の連携を強化します。	・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練	(H29まで)参加者人数 (H30から)参加した中学生へのアンケートで防災意識を調査し、「災害時に率先して行動する」を選んでもらう	107(人)	95%	95%	95%	97%	・地域防災力向上のために中学生に期待される役割を明示し、災害時には率先して行動するよう説明する。	関屋中 119/121人 (98.3%) 香居中 83/ 85人 (97.6%) 白新中 68/ 72人 (94.4%) 合計 270/278人 (97.1%)	達成
2		避難行動要支援者と支援者の顔の見える関係づくりを推進します。	・中央区避難行動要支援者関係づくり事業を通じて、顔の見える関係づくりを推進	啓発品交付決定要保護申請者数(人)	502	671	410	530	992	・支援者へ情報提供している避難行動要支援者数4,371人(R1.12.18現在)	申請団体数 104団体	達成
3		中央区サービス憲章に基づく業務改善の推進に取り組みます。	・中央区オリジナル研修の実施	研修受講者へのアンケートで中央区への理解が深まった職員の割合			97%	97%	100%	【研修テーマ】 ・中央区新任職員研修 ・区長随行研修 ・税業務研修 ・苦情対応能力向上研修	中央区新任職員研修におけるアンケートでは参加職員30人が中央区への理解が深まったと回答があった。(参加33人中、未回答3人除く) 新たに実施した税業務研修は多くの職員の参加があり、通常業務を行う上で役に立つ知識としておおむね好評であった。	達成
4		まちなかを活性化させるため、古町のにぎわい創出に取り組みます。	・NEXT21アトリウムを活用したイベントの開催	・アンケート調査によるイベント満足度 ・イベント開催数				80% 5回	(-) 5回	・書道作品展示(防犯啓発活動) ・ピアノ演奏2回 ・白根大風展示 ・医療従事者への感謝と応援ライトアップ ・ふるまちなちマップPR	・新型コロナウイルスの影響により、集客型のイベントを開催することが困難な状況が続く中で、今できることを検討し、今年は展示型のイベントを中心に開催した。展示型のためアンケート調査は実施できなかったものの、コロナ禍でも昨年と同数の5回イベントを開催することができた。	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
中学生を中心とした中央区ハイパージュニアレスキュー訓練を行う際に、防災士や地域の防災リーダーに指導役として参加してもらい、それぞれが地域の主体となって防災に取り組むことができる体制づくりを進めます。さらに多くの生徒に受講してもらうため、今年度は個別の中学校を会場としてその学校のカリキュラムの一環で実施する方式も検討し、30年度と同じ「災害時に率先して行動する」という意識を持つ中学生参加者の割合を指標とします。 避難行動要支援者対策では、支援者と要支援者の顔の見える関係づくりを推進し、災害に強い地域づくりを進めています。 中央区役所職員が一体としてまた継続して改善に取り組めるように、職員の中央区への理解を深め、さらには職員間の連携を進められるような研修を実施します。 人口減少が懸念されるまちなかの活性化や交流人口の拡大を図るため、中央区役所(NEXT21アトリウム)を活用したイベントを実施し、にぎわいを創出します。	コロナウィルスの感染拡大の防止を図るため、予定していたイベントが軒並み中止や延期となる中、感染対策を施すことはもちろん代替のイベントなどを行い事業の目的を達成するように努めました。 ・ハイパージュニアレスキュー訓練は中学校や防災士の協力もあって2回の予定を3回実施することができ、どの会場でも高い関心も持って訓練に参加していました。 ・職員研修は中央区を知るための新任職員研修を例年実施していますが、中央区への理解を深めることで各職員の業務に役立つと考え、引き続き実施していきます。 ・まちなかの活性化を目的にしたNEXT21アトリウムでのイベント開催は、集客型から展示型のイベントに替えて行い、医療従事者への感謝と応援や、ランチマップの作成に合わせたPRコーナーなど、メッセージ性の強い情報発信に努めました。今後は実行委員会の規約を改正してアトリウム以外の古町地区でも活動できるよう拡充していきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-241-4111(東出張所)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	東出張所
組織の目的	出張所では、市民の皆さんの日常生活に密接に関わる行政サービスを提供していますが、丁寧で親切な対応をモットーに、迅速で間違いのない窓口対応を行うとともに地域コミュニティの支援に努めます。		

作成日	令和2年4月16日
修正日	
評価日	令和3年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標			R2結果	補足・参考指標
1		窓口対応における市民満足度の向上を図ります。	接遇の質の向上に努めます。 ・研修の参加 ・係内での勉強会の開催	市民アンケート満足度調査の平均点	4.38	4.46	4.55	4.5	4.5	・5点満点の平均点	目標の平均4.5点を達成しました。	達成
2		事務処理能力の向上を図ります。	窓口事務や内部事務の改善に取り組みます。 ・専門研修への参加 ・内部事務の見直し	各係1件以上の窓口業務にかかる改善の実施(件数)	4	4	3	3	3	・3つのグループがそれぞれ1件以上の主な改善を実施	3件の改善を実施しました。 (地域G)資産証明を請求する業者に対して、申請書への照会コードの記入のお願い (市民G)市民窓口において、頻繁に問い合わせが多いトイレ案内に対して、わかりやすい案内板の設置 (厚生G)多機能トイレの場所がわかりやすいような案内板の設置	達成
3		地域コミュニティの支援を行います。	地域の会合などに積極的に参加し、情報の収集や支援に努めます。 ・総会などへの参加 ・江東コミ協連絡会の支援	各地域団体の行事等への参加(件数)		年29件	年26件	年25件	年1件	・江東コミ協連絡会 ・万代地域コミ協、南万代地区コミ協、沼垂小学校区コミ協、長嶺地域コミ協 ・新潟まつり江東地区実行委員会 ・東新潟コミセン運営委 ほか	1件に参加しました。 積極的参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策により地域行事等が中止になったため、目標を達成することはできませんでした。	未達成
4		地域の問題解決を支援します	随時寄せられる相談・要望について的確に対応する	地域からの相談・要望等で相談者が納得していたもの(件数)	年14件	年14件	年14件	年14件	年18件	・各コミ協等からの相談・要望 ・困って窓口相談に来られる方への対応	18件の地域からの要望や相談があり、関係部署に取り次ぐなど、丁寧かつ適切に対応しました。	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>出張所は市民サービス窓口の最前線であることから、今年度から市民グループと厚生グループを統合し、市民・厚生グループとすることによって、これまで以上にグループ内での連携・情報共有に努めるほか、各種の研修会等へ職員を積極的に参加させるなど、職員のさらなるスキルアップと接遇の向上を図ります。</p> <p>また、コミ協をはじめとする各団体の会合や親睦会等に積極的に参加することによって、地域の実情の把握や意見交換等を通じ、信頼関係の構築に努め、地域にとって身近で頼れる出張所となるよう取り組んでいます。</p>	<p>・グループの統合によって、転入手続きの際などで連携・情報共有がよりスムーズに図れるようになりました。また、人数が足りないときに、市民又は厚生業務の経験者を相互に派遣して手助けすることができました。今後は、より緊密に連携を図っていきます。</p> <p>・コロナ禍で例年開催される様々な研修会が中止されましたが、開催された研修会にはできる限り参加するとともに、各グループでの業務手順の確認や情報共有を日常的に行い、スキルアップに努めました。</p> <p>・地域への支援についても、コロナの影響で地域のイベントや会合等が中止となりましたが、来所された関係者からの相談や要望等を丁寧に聞き取り、関係部署に取り次ぐなど適切に対応しました。今後とも、地域にとって身近で頼れる出張所となるよう努めていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-283-0406(南出張所)

年度	令和2年度		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	南出張所
組織の目的	市民の身近な窓口として、正確、親切、丁寧なサービスを提供するとともに、地域コミュニティの醸成に寄与します。		

作成日	令和2年4月1日
修正日	
評価日	令和3年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標				R2結果
1		身近な行政の窓口として市民満足度を高めます。	・満足度調査(窓口アンケート)	満足度調査の平均点(点)	4.4	4.2	4.4	4.5	4.4	・5点満点の平均点 ・窓口対応向上や事務改善に活かしていきます。	窓口アンケートを11/10から11/20まで実施しました。満足度の平均値は4.4で昨年度実績と同じでしたが、目標には届きませんでした。市民の皆様により満足していただけるよう、アンケートに記載されたご意見を参考に事務改善に努めます。	未達成
2		地元との信頼関係を深め、地域コミュニティの醸成に寄与します。	・地域団体が行う会議や行事への参加 ・地区コミュニティ協議会連絡会の開催 ・市、区が共催する行事等への参加	会議や行事等の参加または開催した回数(回)	58	50	48	50	33	・校区コミュニティ協議会 7(連絡会 1) ・地区民生委員児童委員協議会 7(連絡会 1) ・消防団中央方面隊分団 2 ・地区PTA連絡会 1	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各協議会の総会や懇談会が中止されたことから、参加する会議や行事の件数が減少し、目標には到達しませんでした。	未達成
3		窓口事務や内部事務の簡便性・適法性・正確性・効率性を高めます。	・窓口事務、内部事務の点検と改善	窓口事務、内部事務の改善件数(件)	8	11	10	6	12	・所内の窓口数 3 (①地域 ②市民 ③厚生)	窓口アンケートでいただいたご意見を参考に、窓口環境の整備を行いました。また、収納事務処理の誤りを受けて事務の点検を行い、マニュアルの修正や様式の変更等を行い、ダブルチェックの徹底を図りました。	達成
4		職員の専門能力を高めます。	・専門研修 ・区の主催する研修 ・他出張所との交流研修	職員1人当たりの研修受講回数(回)	8.6	5.7	3.8	4.0	3.7	・研修対象職員数 18 (正職員 12、会計年度6)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修の中止や人数制限が相次ぎ目標を下回りましたが、参加できる研修には積極的に参加しました。	未達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>住民から愛され信頼される職場づくりを目指し、市民の目線に立った業務運営に取り組めます。そのため、出張所の基幹業務である窓口での各種手続きで市民満足度を向上させること、及び地域活動の活性化に資することを目標とし、日常的な事務改善及び職員の専門能力の向上に取り組めます。</p>	<p>窓口での満足度調査では、目標値には届きませんでしたが、おおむね高評価をいただきました。記載いただいたご意見については、すぐに改善策を検討し実施しました。これからも、市民の皆様により満足していただけるよう、窓口の改善を図ります。地域との関わりについては、コロナ禍で参加する会議や行事の数は減りましたが、できるだけ参加し、地域との信頼関係づくりに努めました。</p> <p>業務改善については、日常的な作業の中から気が付いたことを改善項目として拾い上げ、積極的に改善に繋げました。正確さを高めるためダブルチェックの確認欄を設けるなど、細かいことから始め、事務処理へのさらなる意識向上を図りました。</p> <p>人材育成についてはスムーズな窓口対応に役立つよう、できるだけ研修機会を確保し専門研修や交流研修に参加しました。今後とも、市民の目線にたった業務改善や職員の資質向上に努め、市民満足度の向上を目指します。</p>



令和3年度 中央区組織目標と主な取り組み

区ビジョンに掲げる4つの基本方針に基づく各課主要事業及び特色ある区づくり事業に取り組みます。

I 魅力的で活力あふれる拠点のまちを目指します。

● 区の魅力を再発見してもらう情報発信

SNSを活用して幅広い年齢層の方に中央区の魅力を発信

● まちなか発にぎわいプロジェクト

各種PRイベントや啓発を兼ねたパネル展示などによる情報発信（NEXT21アトリウムからエリアを拡大）



ミニコンサートの様子
(R元年度)

II 安心してすこやかに暮らせるまちを目指します。

● しもまち地域活性化事業

魅力の発掘・配信、地域とアーティストらとのコラボレーション企画やイベントの実施

● レットライ！ 糖尿病予防事業

コミ協、地域の茶の間を対象とした糖尿病の正しい知識や予防方法の講座を開催



● みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業

相談・仲間づくりの場の提供、妊婦個別オンライン相談、区ホームページでの子育てアドバイスの情報発信

● 赤ちゃん誕生お祝い会支援事業

地域主体で開催する「赤ちゃん誕生お祝い会」の支援（経費助成、保健師派遣など）



赤ちゃん誕生お祝い会の様子

● 話そう・つなごう・あなたの想い 終活きっかけ作り事業

地域別人生会議での身近な講師による啓発

● 防災人材育成・地域づくり事業

避難所運営スキルの向上
自主防災組織への防災資機材・保管庫の整備に対する助成



白新中学校
担架による搬送訓練

● 犯罪のない地域づくり事業

特殊詐欺の被害に遭いやすい高齢者を対象とした啓発物による注意喚起

● 生活保護受給者の特定検診受診率向上

生活保護世帯の適切な健康管理

● 地域にとって身近で頼れる出張所

コミ協をはじめとする各団体の会合などに積極的に参加
地域の実情や意見交換を通じた地域コミュニティへの支援

III 水と緑が調和したやすらぎのあるまちを目指します

● 鳥屋野潟環境啓発事業「とやの物語」

学校への出前講座、パネル展、映像教材の作成など

出前講座：桜が丘小学校



● 区民協働森づくり事業

クロマツ苗の植樹イベント、樹木の密度管理など



区民協働森づくり

● 松くい虫防除事業

松くい虫による被害を収束させるため、継続的な対策
(無人ヘリでの薬剤空中散布、伐倒・駆除、植栽工など)



松くい虫防除（薬剤散布）

IV 未来につなぐ歴史・文化のまちを目指します

● 地域のお宝！再発見事業

まち歩き（えんでこ）事業の実施
区民自らによる地域の魅力発信（フォトコンテストの実施など）



● みなとまち新潟 伝統的産業PR事業

新潟漆器利用促進事業、古町芸妓振興事業（若い人の参加促進）、発酵食PR事業